

FCだより

3月号

2010.03.26

船橋FC2010監督 田積 和明

いよいよ全国少年サッカー大会の地区予選まで2カ月を切りました。選手たちの気持ちも少しずつ高まってきています。毎回の練習会も気合いが入り、今まで以上に真剣に練習に取り組んでいるように思えます。トレーニングマッチを見ても、動きが良くなり、ところどころに光るプレーが見られるようになってきました。それぞれの課題、チームとしての課題など、まだ、改善していく点は多々ありますが、それらをひとつひとつクリアし、準備を整えて全国少年サッカー大会予選に臨みたいと思います。

3月13日14日で前橋招待サッカー大会に参加してきました。

予選はグループリーグでの戦いで、どの試合も無失点に抑え、1位で予選リーグを通過。両サイドハーフが幅をとることで、ボランチを経由して逆サイドのスペースをうまく利用できるシーンが多く、得点に結びつけることができました。ディフェンスに関しては、ボールを失ってから素早くプレッシングをすることで高い位置でのボール奪取ができ、また、サイドで人数をかけてボールを奪う意識も高く持っていたと思います。相手のロングボールに対してもセンターバックがしっかりとヘディングで跳ね返し、周りの選手がセカンドボールを拾うことができ、攻撃につなげることができました。

予選を通しての課題としては、センターバックやボランチからフォワードへの縦パスが少なかったこと、また、試合の立ち上がりが悪く、最初の10分間は自分たちのリズムで試合を進められなかったことなどが挙げられ、今後の課題となっています。

翌日の決勝トーナメントでは、前日の反省をふまえ、試合開始から果敢にシュートを放ち、自分たちのリズムを掴むことができました。しかし、シュートの精度が悪く得点に結びつけることができませんでした。また、ボランチのポジショニングも悪く、高い位置でのプレスがかからず、カウンターを受けることも多く見られました。反省点もありましたが、結果的には1-0で勝ち準決勝へと進むことができました。

準決勝はセカンドボールをほとんど拾えずに自分たちのサッカーがなかなかできませんでした。その中でもいくつかのチャンスを作れたのですが、相手ゴールキーパーの好セーブに阻まれ、得点できずに、結果0-1で敗れてしまいました。

そのあと、3位決定戦が行われましたが、今回も立ち上がりの悪さが出てしまい、開始早々に失点し、そのまま、0-1で敗れてしまいました。落としのパスをダイレクトでロングキックしてくる相手に対して人数のかけ所をはっきりさせられず、無得点で終わってしまったことも今後の課題に挙げられます。

今回の遠征で見えてきた課題としては、まず立ち上がりに相手陣地でプレーすることで自分たちのリズムを作れるようにすること、攻撃時のボランチのポジショニングの修正、ヘディング技術の向上、セカンドボールへの意識、クロスボールへの入り方、中央突破の改善などが挙げられます。そしてなによりキックの技術・精度の改善を早急の課題として取り組んでいかなければいけません。これからの練習、また、招待試合やトレーニングマッチを通して修正していきたいと思います。

試合結果

予選リーグ

対 モナークス	5	-	0	
対 狭山台	2	-	0	3勝0敗 予選1位通過
対 前橋エコー	3	-	0	

決勝トーナメント

準々決勝	対	荒子	1	-	0	
準決勝	対	日立	0	-	1	
3位決定戦	対	サンシン	0	-	1	結果 4位